MILLU
TEA

セラミック お茶ミル

分解・組み立て 説明書

USER GUIDE

ミルを使った

MILLU

簡単

お茶レシピ

ついてます

MILLU
TEA

セラミック お茶ミル

風味を損なわない **セラミック刃**

粗さを選べる **粒度調節式**

⚠ ご使用上の注意

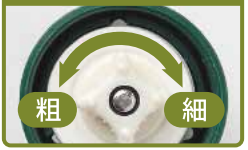
約 20 g の茶葉を挽く事ができます。
（※本体：茶葉容量52 g ／容器：挽いた茶葉容量 20 g ）
緑茶（乾燥した茶葉）専用です。茎茶・ほうじ茶・玄米茶・麦茶などの茶葉は挽けません。また乾燥した緑茶以外の食材は故障の原因となるため使用しないでください。

各部の名称と特徴

セラミック刃

茶葉本来の
風味を損なわない
石臼型セラミック刃！

粗さ（粒度）調節ネジ



お好みの粒度を
選べます！

滑り止め付

しっかり安定で
挽きやすい！

お茶の挽き方

ハンドル付き上フタ・中フタを外し､ティースプーンなどで茶葉を本体の上から入れます。

中フタを閉めます。

※径が小さい方を下にしてセットしてください

シャフト先端の六角部にハンドル（フタ裏面）の六角穴を合わせて上フタを閉めます。

安定した平らな場所で本体をしっかり握りハンドルを時計回りに回します。※逆回しはしないでください。

挽いた後は、セラミック刃や粗さ調節ネジに茶葉が付着します。軽く容器をたたいて茶葉を容器の中に落とし入れてから外してください。

粗さ調節機能

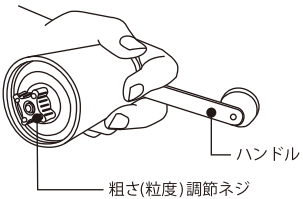
左に回すと
粗く挽けます。

右に回すと
細かく挽けます。

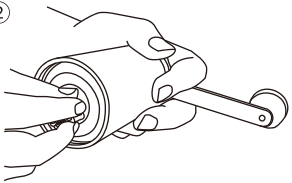
粗さ調節ネジを右に回し、最後まで閉めた状態から左に一回転回すとだいたい中挽きの状態で挽く事ができます。

粗さ調節ネジの使用方法（調節ネジの回し方）

①



②



ハンドル付き上フタをセットし、押さえながら粗さ（粒度）調節ネジを回してください。

※粗さ調節ネジを右に回転しすぎると、セラミック刃同士がこすれ合うことで回転が重くなり故障の原因になることがあります。こすれる音がする場合は粗さ調節ネジを少し左に回しゆるめてからご使用ください。

※きつく締めすぎると、セラミック刃が割れたり欠けたりすることがあります。ご注意ください。

本体・セラミック刃の分解

粗さ調節ネジを外します。(反時計回り)

セラミック刃を取り外します。(引き抜きます)

調整リングを取り外します。

ストッパーの半円部分を固定ピンから外します。

固定ピンの穴からストッパーを引き抜きます。

固定ピンをセラミック刃から引き抜きます。

⚠ ご使用後の注意

緑茶を挽いた後、お茶の粉末をブラシ(歯ブラシ等)で取り除いてください。また長期間ご使用にならない場合は、必ず洗浄してください。お茶の粉末が上下のセラミック刃を密着固定化する場合があります。

本体・セラミック刃の組立方法

本体に調整リングをセットします。

本体のシャフト部のはり出し部に固定ピンのスリット部を差し込みます。

本体の中にある３ヶ所のくぼみにセラミック刃の突起部を合わせてセットしてください。

固定ピンをセラミック刃の中に押し込みます。

固定ピンとセラミック刃の間は隙間なく平らにセットします。入ると矢印で示したシャフトのはり出し部が見えます。

４ヶ所の突起面を上にして粗さ調節ネジを回して取り付けてください。（時計まわりに）

⚠ ご注意

1. 各部品は、しっかりとセットしてください。正しくセットされていないと操作不良や故障の原因になります。
2. 正しくセットされていないと茶葉を上手く挽くことができなかったり、そのまま茶葉が出てくる場合があります。

セラミック刃の組立方法

⚠ 洗浄後の注意

※セラミック刃を水洗いした後は水分が残らぬよう完全に乾燥させてから使用してください。
（天日にて乾燥させてください）

突起部の付いているセラミック刃を下にして細かいすじの入った面同士を合わせます。

セラミック刃を重ねたまま突起の無い方のセラミック刃側に固定ピンのスリット部を手前にして差し込みます。

固定ピンを回転させながらセラミック刃の穴にはめます。

ひっくり返し、穴が開いている側を上にして置きます。

矢印で示している部分を手前にストッパーを差し込みます。

ストッパーは（2ヶ所の穴に通し）中央まで差し込みます。

ストッパーを倒し、半円部分を溝に合わせます。